

天台佛青連



発行元／天台仏教青年連盟

編集／布教広報委員会

発行所／〒289-0108 千葉県成田市高岡163 眞城院内

印刷所／〒960-2101 福島県福島市さくら三丁目2-7 福島カラー印刷株式会社

郵便振替／天台仏教青年連盟 02250-5-6765

題字／第256世天台座主
半田 孝淳 親下

令和2年
2月29日
発行

index

代表 挨拶	1
天台宗宗務総長 御挨拶	2
延暦寺執行 御挨拶	2
沖縄戦争殉難者慰霊行脚	3
タイ・スタディツアー	3
全国大会岡山結集	4
東大寺千僧法要	5
西日本仏青連絡協議会	6
東日本仏青親睦野球茨城大会	7
《特集》	
天台仏教青年連盟50周年記念シリーズ②	
結集10年間の記録	8～9
2020年 天台仏教青年連盟創立50周年	
天台青少年比叡山の集い	10
天台仏教青年中央研修会	11
インフォメーション	12
協賛金協力者御芳名	13～15
常任委員会委員長報告	16

公式ホームページ

<https://www.t-y-b-a.com/>

天台仏教青年連盟

検索



天台仏教青年連盟公式Facebookでは連盟の活動をより多くの方に知っていただけるようにリアルタイムに分かりやすくお伝えしています。皆さまからのフォロー、閲覧どうぞよろしくお願い致します!!



天台仏教青年連盟公式Instagramへのフォロー、閲覧どうぞよろしくお願い致します!!

情報通信委員会

天台仏教青年連盟の会報発行にあたりご挨拶申し上げます。
平素より一宗を始め延暦寺一山御寺院及び全国の天台宗御寺院、並びに各教区仏青会員各位には天台仏教青年連盟の活動に對しまして格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。
令和を迎えたなか、全国各地

に過去に例を見ない程の甚大な被害をもたらす災害に見舞われました。被災されました方々に對しまして、心よりお見舞い申し上げます。
さて、近年の青年会活動は、災害時の支援活動の比率が高くなってきております。災害支援活動においては天台宗防災士協議会と連携を取らせていただき、被災地での支援活動のコーディネートを防災士協議会並びに各教区仏青の会員が行い、全国の青年僧に對して仏青連盟が呼びかけて参加を募り、活動していただく形をとっていききたいと考えております。

山家学生式に「能く行い能く言う」と云うお言葉がございます。青年僧は先ずは「行い」と考えて行動しております。すると、

そこで必ず「仲間」が生まれます。異種、異業種でも志が同じ方向を向いている仲間とのヨコの繋がりが、そして先輩後輩という上下関係も含めたタテの繋がりは大切だと考えます。私たちは青年会もチームスポーツのように会員同士の仲間意識に加え、年令に関係なく世代を越えたタテの繋がりが非常に大切な要素になっております。
また、祖師先德鑽仰大法会は第二期に入り、全教区より報恩法要、不滅の法灯行脚等が行われます。そして令和二年度、この大法会期間に天台仏教青年連盟は創立五十周年の大きな節目を迎えます。大会テーマに「祖師のとし火を守り自から覚る」を掲げ、この一年を進めて参ります。私たち青年僧は自ら課題

祖師のとし火を守り
自から覚る
天台仏教青年連盟代表
松村 宗宣



創立五十周年事業を進めていく上で、仏教青年会が百年先までも繁榮していきますよう、会員各位はもとより宗内諸大德並びに諸先輩方には、何卒ご理解ご協力ご教導を賜りますようお願い申し上げます。

創立五十周年事業を進めていく上で、仏教青年会が百年先までも繁榮していきますよう、会員各位はもとより宗内諸大德並びに諸先輩方には、何卒ご理解ご協力ご教導を賜りますようお願い申し上げます。

向かい挑戦し、そこで天台の教えを再確認し、新たな活動へのきっかけとしたい。『お大師さまが今おられ、この私達の行動をご覧になり、お声をかけていただけたならば』と考えながら、一歩ずつでも着実に踏み出し、天台僧としての自覚をもって活動していきたい。そしてすべてが繋がりが、天台宗と仏青会員の繋がりが強固なものとなり、宗門の更なる発展に繋がっていくればと考えております。

合掌



御挨拶

平和と安寧を
享受できる社会へ

天台宗宗務総長

杜多道雄

新年あけましておめでとうござい
ます。天台仏教青年連盟会員の皆様方
におかれましては二〇二〇年の新春を健
やかにお迎えのことと心からお慶び
申し上げます。また平素より宗門諸行
事へのご協力はもとより、多方面に亘
るご活動に對しまして深謝申し上げま
す。

昨年は、台風十五号、十九号及び記録
的な大雨によって、日本列島各地で河
川の氾濫や浸水、土砂災害、家屋の損壊
など甚大な被害が相次ぎました。被災
されました方々に対し、心よりお見舞
い申し上げますとともに、一日も早い
復興を祈念してやみません。仏青会員
の皆様は、いち早く災害被災地に駆け
つけ、ボランティア活動に尽力されて
こられました。被災者に寄り添い多く
の方々を励ましてこられた浄行に改め
て敬意を表する次第です。

さて、現今の現況を鑑みます時、世界
各地で自然災害を引き起こしている一
因が地球温暖化であるといわれています。
それらの環境問題に対し、私たちは
二〇一七年の比叡山宗教サミット三十
周年記念「世界宗教者平和の祈りの集
い」で、「いのち」の尊さを考える上で、
環境問題への重要性を強く訴え、宗教

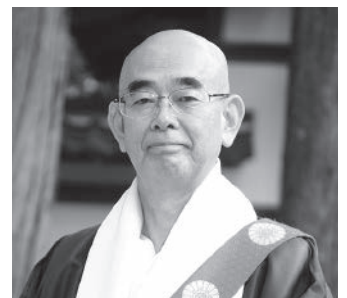
者が真摯に取り組んでいくことを確認
しました。

天台宗では、平成二十四年より十年
間を祖師先徳鑽仰大法会の期間と定
め、そのサブテーマに「山川草木みなほ
とけ」を掲げて祖師方の鴻恩に報いる
ための様々な取り組みを展開しており
ますが、自然界のすべてに仏性を認め、
互いに生かして生かされているという考
え方に立った行動の実践を重ねていく
ことが重要であろうかと存じます。

いよいよ明年には伝教大師一千二百
年大遠忌ご祥当を迎えます。閉塞感に
覆われ、混乱を深める現代社会の深刻
な病弊を克服し、助け合い支え合う共
生社会の実現への明確な処方箋を、宗祖
伝教大師は「己を忘れて他を利するは、
慈悲の極みなり」とのお言葉で示して
くださっております。

この勝縁を機に、生きとし生けるも
のすべてが安定と調和を保持し、平和
と安寧を享受できる社会の建設を願わ
れた宗祖大師のお志を大いに敷衍すべ
く、仏青会員諸氏と共に努めてまい
りたく存じます。

結びにあたり、会員の皆様方にとつ
て最良の年となりますよう祈念いたし
ましてご挨拶とさせていただきます。



御挨拶

延暦寺執行

小堀光實

比叡山延暦寺令和二年の新年「一々
不惜」の言葉を発信、例年になく穏やか
な天候で正月三が日を過ごさせていただきました。

全国天台宗仏教青年の皆様には日々お
健やかに且つ澆刺（はつらつ）と寺務、諸
活動にご精励の事と拝察、お慶びととも
にご慰労申し上げます。

昨年は総本山延暦寺の諸般にご理解ご
法助いただき誠に有難うございました。
殊に五年一会の法華大会廣学堅義の執行
に際して、道場方取持ち役のほか堂番雑
務にご奉仕は感謝に絶えませんが、重ねて
御礼申し上げます。

初て愈々明年、伝教大師一二〇〇年大
遠忌をお迎えします。ご承知の如く本年
は宗内各教区ご寺院様による総本山での
ご報恩法会の一座をお勤めいただくのを
始め、貴仏教青年会結集を十一月十一日、
十二日の二日間に亘って開催され、日程
中諸堂で同時刻に法華経読誦とご報恩法
要を勤められる予定と伺います。正に青
年僧ならではの意気の込める取り組み
になる事と期待しております。延暦寺に
あつても出来得る限りご協力申し上げます
く存じます。

又このほか、最澄さまのご生涯やお人

柄などの魅力を通して小学生から大学
生、そして広く一般の方々と交流する機
会と場づくりを展開していく「伝教大師
最澄一二〇〇年魅力交流」の取り組みの
一つ、「不滅の法燈全国行脚」が四月二日
から四基の灯籠に分灯され一年二ヶ月を
掛けて日本全国を巡ります。

千二百三十余年前、比叡山に始まる新
しい時代への導きの燈として灯された
「不滅の法燈」は仏法の尊さが込められた
燈であると共に、伝教大師最澄さまの他
者を労り思う慈しみの心が込められた魅
力の燈でもありましょう。仏青諸師には
この法燈行脚の折々の機会、何かとご労
をいただく事と存じますが、趣意お汲み
取り下さり、何卒宜しくご法助の上多く
の方々との交流が図れますようお願い申
上げます。

この秋にあたり天台仏青連盟松村宗宣
代表の下、天台宗青年僧一丸となつての
先駆に取り組まれ、連盟の愈々のご発展
を祈念申し上げます。

又あとになりましたが、全日本仏教青
年会理事長に就任された前連盟代表谷晃
仁師のご活躍を大いにご期待申し上げ、
ご挨拶と致します。

第十八回沖縄戦争殉難者慰霊行脚

茨城仏青 山田 純熙

平成三十一年四月二十三日、念法眞教沖縄念法寺様に於いて、殉難者慰霊法要を厳修致しました。翌日の二十四日、北嶺大行満大阿闍梨である光永圓道師を先達に、数少ない沖縄の天台宗寺院である地藏院様から今回の慰霊行脚は始まり、各所において回向や献花、散華を致しました。

行脚させて頂いている中、岩壁の銃弾の跡や火炎放射器で焼かれた跡など目の当たりにし、現在では平和な日本でも、今日に至るまでには人々が生きたくても生きられなかった非情な時代があり、様々なご縁のお陰様で生かせて頂いている命の有難さを感じました。そして、非情



な時代が二度と繰り返されぬよう祈念し、命は皆平等に尊いのだということを深く心に刻みながら追悼の念を込めて慰霊をさせて頂きました。

僧侶として、このような活動や経験を伝えていくことが一番の慰霊になるのではないかと考えます。

念法寺様をはじめご支援頂いた皆様、ご随喜頂いた諸大徳様、ありがとうございます。



天台仏教青年連盟事業 ドウアン・プラティープ財団「生き直しの学校」 ボランティアスタディーツアーに参加して

南総仏青 秋山 秀田

令和元年十一月二十五日から三十日にかけて、松村連盟代表をはじめ十一名の仏青会員がタイ王国ドウアン・プラティープ財団を訪問し、支援金進呈ならびにボランティア活動を行ってまいりました。

同財団は長年にわたり貧困地区への支援活動を行っており、タイ王国南部に同財団が運営する青少年更生施設「生き直しの学校」・チュンポーン校があり、天台宗は三十年程前から施設の整備を支援してきました。

学校への、支援事業（三カ年計画）が始まって今年には二年目です。形に残るものを支援していかうというのが松村代表の思いであり、今年度はアブラヤシ農園の作業用通路整備を進めることになっています。一行は、

まずチュンポーン校に向かい現状を視察しました。収穫作業効率化の為にトラクターが通れる小道を少しずつ切り開いていましたが、通路の数は十分でなく、今後も整備の必要があります。

学校敷地の一角には天台宗の

支援で建設した建物「ともしびの館」があります。外壁が色あせていたので、学校の生徒と共に塗り直し作業を一日かけて行いました。

活動中は学校に宿泊し、生徒たちとの交流を深めるイベントにも参加しました。現地の講師の指導によるTシャツ絞り染め、生徒たちとの球技、幸福を祈念して互いの首に紐を結ぶ儀式「バーシー」、我々が材料や道具を持ち込んで作ったたこ焼きパーティー、花火も打ち上げられたタイの灯籠流し「ロイカトーン」など、短い滞在時間にも内容が盛り沢山でした。学校の生徒も我々仏青も年によって入れ替わっていますが、長い交流の歴史のお陰ですぐに打ち解けたように思います。



日程の後半は首都バンコクにある財団本部を訪問し、今年度の支援金を松村代表が財団代表に進呈いたしました。本部周辺にはスラム街が広がっていて、一行は現状を視察しました。車や家電製品などを持つ住人が増え、一見生活が改善しているように見えても、安い製品をローン組んで購入しているのがあって、貧困地区対策が国レベルではまだまだ不足しているのが現状のようです。我が国の貧困問題でもそうですが、困窮している人々を置き去りにする風潮に警戒しなければいけないと考えさせられました。

農園も建物も植えっぱなし建てっぱなしでは駄目で、維持管理がとても重要です。同じように人材交流も継続することが大切で、この支援活動を若い仏青会員に伝え、交流のともしびを絶やさないようにするのが今後の課題であります。

岡山結集を終えて

天台仏教青年連盟全国大会



令和という新時代初の結集が『和〜共に唱う世界平和〜』をテーマに掲げ岡山で二日間に渡り開催されました。

今結集では、基調講演の講師に黒住教第七代教主 黒住宗道師をお迎えし、『RNNの歩み〜祈りに基づく行動と行動を伴う祈りの実践〜』と題した講演を頂きました。

また宗教の垣根を越えた交流として、イスラーム、金光教、真言宗、カトリック、黒住教

岡山仏青 森定 慈佑



天台宗の各宗、各教団様の特色あるヒーリングコンサート「癒しと祈りの和奏会」をご披露頂きました。

各宗教、各宗派が説く教えや、思想などを【音】に乗せて布教伝導するということは、今結集の掲げる『和〜共に唱う世界平和〜』のテーマに特に当てはまるものではないかと感じました。そして初日の最後には延暦寺一山護心院住職 横山照泰師より総括を頂き締めくくられました。



二日目には天台宗を、そして岡山を代表する葉上照澄大阿闍梨所縁の古刹、金剛山常住寺に舞台を移しました。

常住寺は長年の風雨により荒廃していましたが、岡山教区宗務所長の永宗幸信師を中心に復興プロジェクトが進んでおります。

その常住寺本堂にて、天台仏教青年連盟代表の松村宗宣師を導師に、世界平和祈念法要が厳修されました。

また、比叡山根本中堂の大改修にあたり、伐採された楓から



拵えられた五拵杵も堂内に安置されました。

その後に行われた伽藍拝観の際、三千仏堂内に安置された昭雲工房様による三千鉢の叩き彫佛は圧巻でした。

結集を終えるにあたり、宗教の違いにとらわれることなく、各宗教がそれぞれの【和】を共に唱うことを実現できたことをたいへん嬉しく思います。

この垣根を超え、自分たちの立場で実践していく「和こそが、葉上大阿闍梨の「ポストにベスト」という教えに他ならないのではないのでしょうか。

最後になりましたが、今結集でみなさまから寄せられた義援募金額は九万六千円となりましたことをご報告するとともに感謝申し上げます。



遠藤新兵衛商店

〒600-8334
京都市下京区油小路通六条南入
電話 (075) 351-1367
FAX (075) 351-1476

沈香 白檀 各種焼香 本舗
法要・行事等 記念品「香」受け賜ります

総本山 延暦寺御用達

風間薫芳堂

〒607-8454
京都市山科区厨子奥苗代元町21-8
電話 075-591-0121 FAX 075-581-5760

天台宗専門法衣司

山科大西法衣店

〒607-8357

京都市山科区西野樋川545-21

電話 (075) 591-9159
FAX (075) 502-5418
020 0120-568-024

仏法興隆花まつり

千僧法要を終えて

栃木仏青 菅野弘順



さる平成三十一年四月二十六日、東大寺大仏殿にて行われた『仏法興隆花まつり千僧法要』に参加しました。私は今回はじめての参加であり、恥ずかしながらこういった催しがあるということもはじめて知りました。千僧法要は一九八八年から毎年開催されており、今回で第三十一回目を迎えたこととなります。宗派の垣根を超えて多くの青年僧が一堂に会しひとつの法要をつくりあげる珍しい機

会です。世の中はこの十数年の動向として、音楽や食、映像や自然体験などの文化面だけでなく、学術研究の先端分野に到るまで、様々なクロスオーバーや知識の交換が求められるようになり

ました。そういった流れを見据えていたかのように、時代を先取りする形で始まった行事なのではないかと想像します。

今日の千僧法要は、かつて聖武天皇が人災や天災が続く中、国家と民の安寧を願って盧舎那仏を造立し、千僧、万僧を招いて開眼供養を行った故事に由来しています。現在、聖武天皇の時代とは大きく異なる社会が営まれています。我々の生活を覆っている不安や閉塞感は、形を変えながらあり続けています。社会の最小単位が集団から個に変わり、物質的な豊かさがそれを加速させました。なかには人との結びつきが希薄になり、心を見失う人も稀ではありませぬ。また利便性をもたらしたネット社会の恩恵の裏には、見えない落とし穴が潜んでいます。



す。さらには雇用の形態変化につき、労働の環境も転換点を迎え先行きは不透明です。三・一一をはじめとして大きな災害が続けて起き、復興もまだまだ道半ばにあります。

長い歴史の中で人々に受け入れられ、力を発揮してきたことから裏付けられるように、仏教はすべての時代に通じる知恵を内包しているといわれています。しかし、私ひとりでは能力の低さも災いしてなかなか道筋は見えませぬ。三人寄れば文殊の知恵。宗派を超えた千人の僧侶が集まれば、文殊菩薩さまだけの議会が開かれるようなものです。いま一度仏教の持つ力を探り、発信する機会として、千僧法要はますます大切な催しになっていくのではないかと思います。

COLOR

福島カラー印刷株式会社

〒960-2101 福島市さくら3丁目2-7
TEL024-594-2188 FAX024-594-2189 営業所／郡山・東京

<https://f-color.co.jp>

最期の、ありがとう。

葬儀会館 **TEAR**
ティア

本社
〒462-0841
愛知県名古屋市中区黒川本通三丁目 35 番地 1
(ティア黒川 4F)
TEL. 052-918-8200 FAX. 052-918-8600

ご寺院様用お仏具
お仏壇・墓石・ギフト

やすらぎの世界を創る



■姫路寺院営業部 TEL(079)288-2211代

■本 社 / 姫路市南畝町2丁目31番地
TEL(079)288-2211代

通話料無料
0120-1616-94

●受付時間/午前10時～午後6時半

天台宗防災士協議会

防災士とは？

自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、日本防災士機構が(資格)認証した人です。

資格を取得し、災害時の活動や災害被害を減らすために一緒に活動しましょう!!

詳しくは下記事まで
会長 兵庫教区 井藤圭順
Tendai.bousaishi@gmail.com

お香  みつり花

☎ 520 - 0524
滋賀県大津市和邇今宿 384 - 3

電話 077 - 594 - 1845
FAX 077 - 594 - 2151

天台宗務庁御特命
三諦章袈裟専織所

総延宗御
本膳務用
山寺片達

森忠法衣店

五代目 森 忠兵衛

〒604-0842 京都市中京区押小路通烏丸東入
電 話 075-231-1203 番
FAX 075-255-7020 番

第十回西日本仏青連絡協議会

近畿仏青 小林 徹彦

もできました。着替えや荷物置き場も快く提供して頂き四天王寺様には心より感謝申し上げます。

一言で西日本仏青と申しまして、東は東海地方から西は九州まで、お寺の環境も、活動内容も様々であります。ご多用の中、この大阪に足を運んで頂き尊いご縁を結ばれたこと、遠く過去からの深い仏縁に結ばれたかけがえのない仲間だと懐かしく、不思議に思われました。担当仏青を代表して衷心より御礼申し上げます。

平成三十一年三月六日、七日の両日、「第十回西日本仏青連絡協議会」を近畿教区青年会の主催で開催させて頂きました。参加者は初日が三十二名、二日目が二十一名で、第十回という節目を迎えることになります。

懇親会では、誰彼ともなく自己紹介をしてはどうかと提案があり、折角だからと各仏青ごとに全員が舞台上に登壇、あるいは生の活動の声に共感し、あるいは笑いを誘う場面もあり一同大いに盛り上がりました。これ



からも、できるだけリラックスした普段着の付き合いができればと好評を頂きました。



二日目は、心配された雨も上がり、天台宗とも縁の深い、日本最古の寺院「和宗総本山四天王寺」に参拝致しました。人気テレビ番組「ぶっちゃけ寺」でお馴染みの加藤公啓師に境内を案内して頂くことができました。水平線に夕日が沈むことから西方極楽浄土の東門に見立てられるという「石の鳥居」からの出発です。平安時代には眼前に海が迫り日想観



法衣・稚児貸衣装・仏具荘厳品 贈答記念品・授与品 株式会社 鈴木法衣店 全国共通フリーダイヤル 0120-55-0369 東京店 〒110-0015 東京都台東区東上野6丁目8番8号 東京店直通 FAX番号 0120-447-560 埼玉店 〒345-0047 北葛飾郡杉戸町高野台東1丁目15-7 埼玉店直通 FAX番号 0120-66-5966 ホームページ http://www.suzukihouten.jp	法衣・仏具製造及び販売 井筒法衣店 代表取締役社長 今岡規代 USUTUZI ●本社 600-8468 京都市下京区堀川通 新花屋町角 西本願寺地 Tel 075-365-0001 0120-075-730 Fax 075-353-7021 ●東京店 160-0008 東京都新宿区四谷 三栄町十四番地三 Tel 03-3358-1500 Fax 03-3359-8902 SINCE 1705	社寺建築設計施工 株式会社 大幸社寺工務店  埼玉営業所 埼玉県川口市東本郷1-9-4 電話 048-452-4062 FAX 048-452-4063 本社 東京都足立区勝2-22-4 電話 03-3896-3531 FAX 03-5647-8077
---	---	--

第四十一回 東日本仏青親睦野球 茨城大会

茨城仏青 瀧川 真照



令和元年五月十四日（火）、十五日（水）に茨城仏青主催による東日本仏青親睦野球が水戸の地にて行われました。令和初の大会となった今回、各仏青様より百六十名を超える多くの会員様にお越しいただきました。

第一日は、ホテルウエストヒルズ水戸にて懇親会、また翌日のリーグ抽選が行われました。魅力度最下位で有名な茨城県であります地酒、ブランド牛で精一杯のおもてなしをさせて頂き、大いに盛り上がるものとなりました。また今回県木でもあ

る『梅の木』を使用した腕輪念珠を名前入りで作製、大会の円成また会員様の安全を祈願し記念品とさせて頂きました。

もともと雨予報が出ていた今回、一日目の夜の時点で雨が強まり、翌日のグラウンド整備等も考えると大会が危ぶまれていましたが、翌日空を見上げてみたら青空が広がり、グラウンド状況も問題なくプレイできる状態で一同胸を撫で下ろしました。水戸総合運動公園 軟式球場全十二チーム参加で始まった親睦野球大会。毎年恒例のラジオ体操は『茨城弁パージョン』で行い、ここでも茨城県をアピールさせて頂きました。

午前は三チーム毎のリーグ戦、午後は勝ち進んだ四チームによる決勝トーナメント。リーグ戦を勝ち残ったのは、東京仏青様、信越仏青様、南総仏青様、茨城仏青となりました。白熱した試合の結果、優勝は次回親睦野球大会開催教区でもあります南総



仏青様となり、次回開催に勢いを持つ事が出来たかと思えます。昨今この仏青様も会員減少に伴い、様々な催しごとが大変

になっているところ、こうして多くの会員様に参加して頂けたことはとても意義のある事だったかと思えます。準備不足な点や不出来な箇所

多々あったかと思えます。しかし大会を無事に終えられました事は、教区御寺院様をはじめ、各仏青様のご協力があったての事と思えます。ここに感謝申し上げます。

東日本仏青親睦野球 茨城大会を終えて

北総仏青 青木 美翔

令和元年五月十四・十五日、私は初めて野球大会に参加させて頂きました。十四日は水戸市のホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸で懇親会が行われ、他教区の仏青の方々と親睦を深めさせて頂きました。懇親会の終盤で翌日の対戦発表が行われ、北総教区の対戦相手は南総教区と混合チームの方々に決まりました。

翌十五日、水戸市総合運動公園で野球大会が開会されました。北総教区は一勝一敗で予選敗退となり、同じリーグで戦った南総教区が優勝しました。

今回尼僧として参加させて頂き、初めは男性の中に混ざって野球ができるか不安でしたが、心優しい気遣いをして頂きとても楽しく野球をすることができました。開催して下さった茨城教区の皆様に心より感謝を申し上げます。有難うございました。



地水火風空

品質第一をテーマに、自然と調和を大切にした製品作りに励んでまいります。

営業品目 卒塔婆 角塔婆 経木塔婆 ゴマ札 各種持参あり



塔婆製造販売
(株)協和木工所

東京都西多摩郡日の出町平井1316
TEL. 0425-97-0732
FAX. 0425-97-1816

誠実と真気で奉仕する
御守・授与品・参拝記念品奉製

天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009 (代) FAX 0120-34-2996

神社・仏閣用授与品・タオル・風呂敷
ふくさ・進物品・お誂え全般 卸

有限会社 ヤマゼン

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町3-1-15
ユーアイビルディング6F

TEL 06-6251-0551 FAX 06-6251-0552



50周年記念事業に向けて

特集

結集10年間の歩み

本年は天台仏教青年連盟創立50周年を迎えます。そこで今回特集頁では、40周年より10年間の結集を振り返りたいと思います。

～我が志を述べよ～

2011年
(平成23年)
6月29日・30日
九州結集

- ◆ヒルトンシーホーク
- ◆講師／武 覚超 師



2010年
(平成22年)
11月15日・16日
**40周年
中央結集**

- ◆「青年僧として仏教教化を考える」
- ◆延暦寺会館
- ◆講師／小川 恵 師・宮本祖豊 師

「天台僧がいま
学ぶべきこと」

2014年
(平成26年)
9月29日・30日
埼玉結集

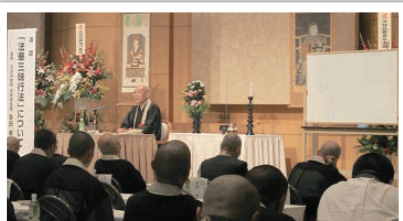
- ◆ホテルラフレさいたま
- ◆講師／久保良峻 師



「信なくば立たず
～青年僧のあり方～」

2013年
(平成25年)
9月11日・12日
神奈川結集

- ◆横浜ベイホテル東急
- ◆講師／多田孝正 師



『忘己利他』
～人と人そして
心と心～

2012年
(平成24年)
9月6日
陸奥結集

- ◆江陽グランドホテル
- ◆講師／齊藤圓真 師



この度は五十周年という記念すべき佳節を迎えられました事、心よりお慶び申し上げます。

私が四十周年の記念事業のお手伝いをさせて頂いてからは、十年も経過したのかと改めて月日の早さに驚かされてしまいます。

四十周年の記念の結集を本山で行ったときからも、仏教を取り巻く環境が大きく変わってきた現代において、もう一度原点に立ち返り若き僧侶がなすべき事を見直そうと研鑽を重ねられていることと存じます。

やはり、祈ることの大切さは私たち宗教者がその根幹として持ち続けなければならぬ一つのファクターであり、それを裏付ける法儀教学は一生のライフワークだと思いま



実行委員長
一番ヶ瀬順海

連盟創立五十周年に寄せて
天台仏教青年連盟
創立四十周年記念中央結集大会

「がんばろう青年僧
がんばろう九州～日本の
ひなた(宮崎県)から一隅
を照らそう～」

◆宮崎観光ホテル
◆講師／水谷もりひと 師
秦 順照 師

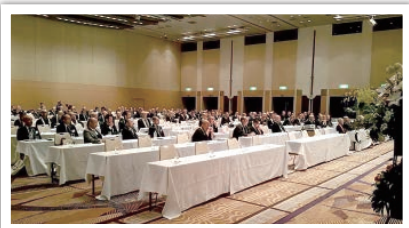
2017年
(平成29年)
10月2日・3日
九州東結集



今だから考える自然
との共生～ぼくらも
みんないきている

◆ロイトン札幌
◆講師／多田孝文 師
坂東 元 師

2016年
(平成28年)
10月12日
北海道結集



光伝えよ法の灯
～相承と創造～

◆書寫山 圓教寺
◆講師／桂 南光 師

2015年
(平成27年)
11月4日・5日
兵庫結集



2020年
(令和2年)
11月11日・12日
**50周年
中央結集**

◆延暦寺会館
◆講師／松村和順 師

「祖師のともし火を守り
自から覚る」

「和～ともに唱う
世界平和～」

◆岡山国際ホテル
◆講師／黒住宗道 師
横山照泰 師

2019年
(平成31年/令和元年)
10月9日・10日
岡山結集



「伝統と継承
～祈りと文化～」

◆高崎市文化会館
◆講師／下平克宏 師

2018年
(平成30年)
10月3日・4日
群馬結集



す。その上で、災害復興ボラ
ンティア等の地域社会への貢
献、宗教活動を通じた檀信徒
への心遣い、家族や仲間との
相互理解など、大小様々なコ
ミュニケーションの中で、心
をかわすことのできる「人
と人のつながり」も大切に
すべきだと思っています。

仏青の活動がまさにこれら
の実践の場である事は、卒業
した後に改めて気付かされて
しまったわけですが、仏教青
年連盟が五十年にも及ぶ長き
間、このような実践・研修の
場を全国各地で設けて頂いて
いる事は大変ありがたいこと
です。今後、先輩方から受け
継いだこの伝統を、これから
の未来を担う全国の青年僧へ
伝え広めて頂きたいと思いま
す。

最後になりましたが、天台
仏教青年連盟の今後益々の発
展とご活躍をご祈念致します。

第五十四回 天台青少年比叡山の集い開催

実行委員長 梅宮 亮寛

この「天台青少年比叡山の集い」は天台宗と比叡山延暦寺の共催の下、伝教大師が目指された「国宝的人材」となるために規律ある行動と合掌の心を持って日常では体験できない生活を送り、平和について考え生きた喜びとあらゆるものに生かされ

ていることへ感謝し、そして社会へ奉仕することの大切さを学び「一隅を照らす」精神を実践する人が一人でも多く生まれることを願うものです。

毎年八月上旬、二泊三日の期間で研修生の対象となる中学生と小学六年生を募り、青少年の育成教化活動の一環として比叡山を会場に開催しています。今回参加した研修生は百六十三名、内十五名が特別研修生（研修生として参加経験のある高校生）でした。

また研修生の指導にあたるリーダーは六十九名（男子四十五名、女子二十四名。僧籍の有無を問わず全国から募集します。リーダーは八月本番前の六月に事前研修を行わなくてはなりません。そこで統一された指導を行えるよう基本方針や心得を学びます。

今回の本番では「一隅を照らす運動」の記念行事スタディーツアーよりタイとインドの子供



達が諸堂巡拝・平和の祈り・営火（キャンプファイヤー）に参加し、期間中一番の盛り上がりを見せる営火では祖国の歌と踊りを我々に披露してくれました。

彼らの笑顔に引き寄せられ研修生たちも一緒に踊ってその場を精一杯楽しんでいました。

研修生に貴重な交流の機会があり、またリーダーに全国の同志と出会う機会がある青少年の集い。次回は五十五回を迎えます。

長きに渡りこの研修が行えますのも、リーダー募集の段階からお力添えをいただきました各



教区、仏青、関係各所のご理解ご協力の賜物です。ご推薦いただいたリーダーたちもそのサポートにより力を十分に発揮できましたこと厚く御礼申し上げますとともに、今後とも「天台青少年比叡山の集い」を宜しくお願い致します。



各宗総本山御用達
お香 紫雲堂

（有）クスモトコーポレーション

事務所 徳島県徳島市昭和町5丁目18番6号105
ショールーム 徳島県徳島市両国橋25番地
〒770-0912
TEL 088-622-4015
FAX 088-652-1327

文化財修復・社寺建築

園 木澤工務店

本社 〒606-8414
京都市左京区浄土寺真如町111番地-1
TEL (075) 751-0628 FAX (075) 752-9430
〒529-1314
営業所 滋賀県愛知郡愛荘町中宿173番地
工場 TEL (0749) 42-2859 FAX (0749) 42-5727

京滋会
京滋会・京仏具
安 藤

京都本店 〒605-0081 京都市東山区古門前通花見小路東入
TEL 0120-29-8161 FAX 075-525-2359
東京店 〒105-0014 東京都港区芝2丁目15-2
TEL 0120-3232-09 FAX 03-3454-3251
福岡店 〒812-0036 福岡市博多区上呉服町12-7
TEL 0120-2143-22 FAX 092-291-2144

令和元年度 天台仏教青年中央研修会

天台宗務庁 社会課長 星野 貴宣

令和元年度の中央研修会では、地鎮式の作法について学んでいただくために、延暦寺一山戒光院住職高山良彦師を講師に迎え、皆さまに講義を聞いていただき



義の中でも自由に意見交換ができるスタイルでしたので、地鎮式の基本をもう一度学んでいただくとともに、それぞれが何かを得て帰っていただい

たとしたら幸いです。

ました。『台門行要抄』や延暦寺法務部が法具購入者に送付している資料に講師がさらに書き込みをくれたものが配布され、より詳しく実践的なお話が聞けたと思っております。

なお、来年度の中央研修会は十月一日(木)・二日(金)で開催いたします。伝教大師一二〇〇年大遠忌ご祥当を控え、宗祖の教えに立ち帰るよう内容を検討しておりますので、是非多くの方々にご登壇いただくたく存じます。



研修生の中にはすでに地鎮式を修したことがある方が多く、私は省略してこういうやり方で行っている、私の地方ではこれをお供えしている、など地鎮式には様々なかたちがあることが興味深かったです。講



天台仏教中央研修会に参加して

四国仏青 西原 太河

山の木々が美しく紅葉し、さわやかな風に木の葉が舞う良い季節に研修会が行われました。今回は地鎮式についての講演と作法の実習というこ

とで、大変興味を持ち参加させて頂きました。私は初めての参加で少し緊張ぎみに参加しましたが、高山先生の熱心で参加者の皆様一人ひとりに語り掛けるような講演が非常に分かりやすく、緊張などすぐに解けて内容に集中出来ました。

実習では実際に使う法具を使用し、実践において丁寧で詳しく説明して頂いたことにより更に学習意欲が増し、和やかな雰囲気の中、参加者皆様も様々な質問をしていました。基本作法の他、色々な案件での応用など臨機応変な対応の方法のアドバイスも頂き大変参考になりました。

次の日、大書院特別公開ゲゲの鬼太郎と比叡山の七不思議展を見学させて頂きました。入口にてお化け提灯が歓

迎してくれました。入口からいつもの大書院の雰囲気を変する、まさにお化け屋敷に入るかのごとくの雰囲気です、自然と参加者の皆様にも笑みがこぼれていました。

子供の頃より見ていたアニメや漫画が、比叡山で見ることが出来るのは何とも不思議な感じがしましたが、見た方は、より比叡山を身近に感じると思います。何と言っても鬼太郎や妖怪たちの絵が私たちの幼き頃に見ていた絵に近しいこと(私の個人的な意見ですが、今のアニメは猫娘が可愛すぎる!)。これは嬉しい懐かしい気持ちになりました。

また、中には総持坊の玄関の上に掛けてある一つ目の絵が展示してあり、怠けた僧侶を戒めるという伝説があるので、我々僧侶は身を引き締められます。

とにかく薄暗い中、スポットに照らされた美しい絵がならんでおり大書院の厳かな建物の造りと相まって非常に見ごたえのある展覧会でした。また是非とも来年、再来年と研修会に参加したいです。

但馬の土に根ざす
赤坂土建(株)

代表取締役 赤坂龍彦

〒669-6815 兵庫県美方郡新温泉町桐岡386-9
TEL 0796-92-1439
FAX 0796-92-2288



赤坂文殊庵
Akasaka Monju-an

〒669-6815
兵庫県美方郡新温泉町桐岡386-9
TEL&FAX 0796-92-1577



THE WESTIN
MIYAKO
KYOTO

〒605-0052 京都市東山区粟田口華頂町1(三条ヶあけ) Tel.075-771-7111
www.miyakohotels.ne.jp/westinkyoto

令和元年度天台仏教青年連盟 救援募金のご報告

- 8月(九州北部)豪雨災害義援金 … 426,279円
- 台風15号災害義援金 …………… 1,288,650円
- 台風19号災害義援金(受付中) … 710,747円
- 連盟支援活動支援金…………… 20,000円
- 連盟救援基金 …………… 479,498円

合計…………… 2,925,174円

【令和元年度 連盟支援団体】

連盟救援基金より下記の4団体に支援金を送付いたします

- ①一隅を照らす運動総本部 ②天台宗防災士協議会
③PMJバンニャメツタ ④タイ プラティーブ財団

ご協力いただきました各仏青様に心より感謝申し上げますとともに、引き続きのご支援ご協力を宜しく
お願いいたします。 〈救援委員会〉

※上記の義援金・支援金は令和2年1月1日現在です。

天台仏教青年連盟全国大会 創立50周年記念中央結集のご案内

令和2年11月11日(水)、12日(木)

会場：比叡山延暦寺/延暦寺会館
記念事業：浄土院拝殿燈籠修復
記念法要：延暦寺諸堂にて同時法要
講演：松村和順 師(一般社団法人 寺子屋ブッタ代表理事)
記念式典：12日午後より50周年記念式典をホテル
グランヴィア京都にて開催

創立50周年を迎えた天台仏教青年連盟は、比叡山山上において上記の日程で『中央結集』を開催いたします。

1日目は記念事業として修復した拝殿の燈籠を奉納するために浄土院へ参拝し、十二年龍山比丘渡部光臣様よりお話を頂戴致します。

その後、地域寺院のあり方を一緒に考えて下さる松村和順師より基調講演をいただきます。

2日目は、普段立ち入ることのできない延暦寺諸堂にて同時刻に法華経読誦を執り行い伝教大師御報恩の法要を行いたいと思います。

時代は令和へと移り変わり、多くの日本人が新しい社会の息吹を感じている今、我々天台仏青も大きな節目を迎えます。さらに、来々令和3年には伝教大師1200年大遠忌をひかえており、青年僧として原点を見つめ直す良い契機となる結集を企画しています。

全国から多数のご参加をお待ちしております。

〈天台仏教青年連盟・本山仏青〉

第12回西日本連絡協議会開催の お知らせ(担当：滋賀仏青)

滋賀仏青は昭和47年に発足し、現在31名の会員を有しています。しかし、法務や兼職等の事情で活動に参加しにくい方もおられ、少人数で活動しています。十分なおもてなしは出来ないかもしれませんが、皆様の親睦が深められるよう当会らしい企画を計画中です。ご多用のところ誠に恐縮ですが多くの皆様の参加をお待ちしております。

※日時等の詳細は追ってご案内致します。



第42回 東日本仏青親睦野球 南総大会のお知らせ

【大会日程】

令和2年5月21日(木)～22日(金)〈1泊2日〉

※1日目に野球大会・懇親会を開催します。

【大会会場】

稲毛海浜公園野球場(2面)

(千葉県美浜区高浜7-2-1 駐車場有)

美浜ふれあい広場(2面)

(千葉県美浜区磯部8-24-1 駐車場有)

【懇親・宿泊会場】

アパホテル&リゾート(東京ベイ幕張)

球場まで10分程

(千葉県美浜区ひび野2-3)

★本大会は1日目に野球大会・懇親会を開催し各教区仏青の親睦を目的に皆様にとって有意義な大会になりますよう、南総仏青会員一同で準備に取り組んでいる所でございます。つきましては、ご多忙とは存じますが、どうぞ皆様お誘い合わせの上ご参加下さいますようお願い致します。

【問い合わせ】 南総天台仏教青年会事務局

社会福祉法人 輝泉会

キリクこども園

〒463-0001

愛知県名古屋守山区上志段味樹木1663

TEL(052)739-0151 FAX(052)739-0152

学校法人 常泉寺学園

春日井いずみ幼稚園

〒487-0024

愛知県春日井市大留町5丁目24番地29

TEL(0568)51-0725 FAX(0568)51-8866



天台仏教青年連盟

協賛金協力者御芳名（敬称略）

皆様の絶大なる御支援に心より御礼申し上げます



天台宗務庁

天台宗務総長

杜多 道雄

総務部長

寺本 亮洞

法人部長

浅野 玄航

財務部長

甘井 亮淳

教学部長

森田 源真

社会部長

林 光俊

一隅を照らす運動 総本部長

森定 慈仁

延暦寺執行

小堀 光實

宗議会議員

（寺籍簿順）

延暦寺一山 止観院

小林 祖承

滋賀教区 眞迎寺

辻井 芳道

近畿教区 本山寺

百濟 寂仁

兵庫教区 八葉寺

國岡 恵心

岡山教区 千光寺

葉上 観行

四国教区 大通寺

大西 栄光

九州西教区 青龍寺

藤 光俊

三岐教区 佛眼院

佐後 映雄

東海教区 常覺院

村上 圓竜

信越教区 光前寺

吉澤 道人

北総教区 永命寺

玉田 法信

南総教区 観明寺

細野 舜海

埼玉教区 福正寺

大澤 貫秀

群馬教区 常圓寺

綾小路 乗俊

群馬教区 満勝寺

原 徳明

茨城教区 如意輪寺

船戸 俊宏

栃木教区 實教院

鈴木 常元

栃木教区 圓林寺

柳澤 最伸

福島教区 永藏寺

中村 周常

陸奥教区 観音寺

鮎貝 宗城

木村 俊雅 四国教区 長尾寺	永宗 幸信 岡山教区 本性院	荒樋 勝善 兵庫教区 白毫寺	兼平 明観 近畿教区 松見寺	安藏 玄周 滋賀教区 泉福寺	教区宗務所長 (寺籍簿順)	島津 玄真 山形教区 金剛樹院
三浦 祐俊 群馬教区 長福寺	木本 清玄 埼玉教区 福正寺	高橋 隆叡 南総教区 能満寺	弘海 高顯 北総教区 大乘寺	榎本 昇道 神奈川教区 寶塔寺	柴田 真成 東海教区 高田寺	森島 喜良 三岐教区 常住寺
久野 良廣 近畿教区 月照寺	宗内御寺院・団体 (寺籍簿順) 5口以上ご協賛の方	梶谷 隆幸 玄清(統管) 成就院	清原 正田 山形教区 立石寺	千葉 亮賢 陸奥教区 満福寺	横山 大哲 福島教区 西藏寺	中村 純亮 茨城教区 薬王院
松村 宗哲 東海教区 生福寺	山田 圓祐 東海教区 常泉寺	久保寺 美好 三岐教区 華嚴寺	角本 尚雄 九州西教区 長壽寺	池田 智鏡 九州西教区 普光寺	國光 豪世 九州東教区 願成就寺	藤村 憲弘 岡山教区 福田寺
長澤 徳栄 東京教区 津梁院	市原 孝信 東京教区 龍眼寺	京戸 慈仁 東京教区 西光寺	生方 常明 神奈川教区 天王院	青木 大樹 北陸教区 薬王寺	酒井 妙照 東海教区 明光院	佐藤 正延 東海教区 龍泉寺

橋本 亮幸 埼玉教区 勝光寺	小川 長圓 南総教区 笠森寺	菊池 暁昇 北総教区 泉養寺	加藤 邦宣 東京教区 徳藏寺	本多 賢眞 東京教区 観音寺	坂本 観泰 東京教区 知行院	大多喜 義慶 東京教区 真如院
寺門 俊明 茨城教区 如意輪寺	深谷 尚永 茨城教区 來迎院	光榮 純貴 茨城教区 月山寺	市川 祐純 群馬教区 安養院	谷 晃仁 群馬教区 永福寺	谷 晃昭 群馬教区 西光寺	光榮 澄人 埼玉教区 圓能寺
		福島教区 79 景政寺	信越教区 45 光明寺	滋賀教区 69 浄福寺	茨城教区 永樂寺 総代 平野 健一	陸奥教区 東雲寺 山田 清隆
担当役員 益子 亮陽 山石 亮秀 伊東 寂円 西村 智裕 西原 大河 清水谷 善暁 藤枝 瑞樹 吉田 靖順 久保寺 福美		副委員長 布教広報委員会		天台仏教青年連盟 代表 松村 宗宣 副代表 山石 亮秀 事務局長 木本 栄悟 事務局次長・庶務 中里 正敬 事務局次長・法務 杉谷 義恭 事務局次長・渉外 藤村 憲龍 事務局次長・渉外 山本 賢潤 小笠原 一行 角本 尚隆 益子 亮陽		

誤記等がございましたらご容赦くださいますようお願い申し上げます。令和2年2月1日現在、ご協賛頂きました方を掲載しております。

広告を掲載しませんか？

『天台佛青連』は年に1回天台宗の全寺院に向けて発行される青年会の機関誌です。
御寺院様の行事のPRや告知、求人募集などにお役立てください。

天和三年創業 総本山延暦寺御用達

藤安田念珠店

〒604-8072
京都市中京区寺町六角角
TEL (075) 221-3735
<http://www.yasuda-nenju.com>



寺社用品奉製

有限会社 むらかみ

〒591-8022 大阪府堺市北区金岡町3001-25
TEL (072) 258-0122
FAX (072) 255-4709



令和元年度 常任委員会 委員長報告

結集研修委員会

委員長(岡山) 松原 照敬



— 担当 —

本山・滋賀・京都・岡山
九州東・東海・信越・群馬

結集研修委員会では、例年結集及び中央研修の取り組み方や議題・問題点等について協議しております。

昨年は元号が変わり最初の結集を十月九日～十日の日程で天台仏教青年連盟全国大会「岡山結集」を岡山国際ホテルを会場に行いました。開催にあたり岡山を拠点として活動されているRNN(宗教人道支援NGOネットワーク)に共催を依頼し、青年僧が創る宗教サミットをヒーリングコンサートで表現しました。一般聴衆の方を含め約三百名の皆様に御参加頂きました。

初日には黒住教第七代教主黒住宗道師による基調講演、延暦寺一山護心院住職横山照泰師からは全体を通しての総括。二日目はホテルから徒歩十分程度の常住寺に移動して「世界平和祈念法要」を、寺院二ヶ所の御堂をお借りし厳修致しました。

二日間を通して魔事無く円成出来ました事、御参加下さいました皆様に委員会として厚く御礼申し上げます。

来年は比叡山にて中央結集が開催されます。天台仏教青年連盟創立五十周年を記念する結集でもありますので是非多くの御参加、又御協力を御願い致します。

救援委員会

委員長(南総) 佐久間 実洗



— 担当 —

九州西・神奈川・南総
埼玉・栃木・福島

委員会報告の冒頭にあたり、令和元年九州北部豪雨、台風十五号、台風十九号、千葉豪雨により亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に心よりお見舞い申し上げますと共に、皆様の一日も早い復興をお祈り致します。

また各教区仏青の皆様には九州北部豪雨、各台風被害の義援金、支援金のお願ひに對し多くの浄財のご協力を頂きました。更には各被災地、被災寺院への支援活動、ボランティア活動を実施していただき誠に感謝申し上げます。

救援委員会では、平時の活動として代議委員会や結集において募金活動の協力を呼びかけ、災害時には災害救助法の適用を参考に義援金を拠出し各委員が防災士と協力して被害状況の調査や情報収集を行い、必要に応じて連盟MLやFacebookなどを活用して各教区仏青に救援活動の依頼をする体制を整え、皆様が速やかに支援活動を行えるよう今後も他団体と連携して情報網の整備により一層努めて参りますので、今後とも皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

情報通信委員会

委員長(山形) 清原 要田



— 担当 —

東京・北総・陸奥
山形・北海道

情報通信委員会は主に連盟ホームページ、フェイスブックやインスタグラムの管理運用を任されています。

当委員会は発足当時に比して、その役割が増えている委員会です。昨今ではSNS等で情報の発信を主に行っていますが、先に行われた委員会会議では今後は発信した情報を纏めこれから先に残す、その枠組を作成する必要性があるのではという意見がありました。ウェブ上での情報とは、場所や時間を選ばずに誰でも参照できるという事に一つの価値があります。現在の仏青活動やボランティア活動も過去に行われた活動を下地に改良して行っているのであれば、その下地を増やすのは対応できる範囲を増やす事に繋がることになるので、積極的にそういった施策を採用し、連盟だけでなく各仏青様の活動の一助にと考えています。

仏青会員の皆様は様々な方法にて情報発信を行なっているかと思えます。その情報が後に役立つよう、当委員会の活動にご協力をお願い致します。

布教広報委員会

委員長(三岐) 久保寺 福美



— 担当 —

近畿・兵庫・山陰・四国
三岐・北陸・茨城

布教広報委員会では会報「天台佛青連」の編集発行を行っております。役員改選のあった今年度は委員の顔ぶれが変わって間もない僅かな時間の中、新旧の代表や役員、新任代議員を紹介する会報「臨時号」を発行致しました。

今回は従来の物とは異なり、六月に宗内から四人目となる谷晃仁前連盟代表が上部組織である全日本仏教青年会の理事長に就任する運びとなり、それに伴って今回は特別にページを増量して、全日仏青側からも原稿をいただく形で初めて連盟、全日仏青とを併せて掲載して紹介させていただきました。

また皆様ご存じの通り、来年は連盟創立五十周年ということで通常の委員会業務に加え、五十周年中央結集関連の準備等で色々お手伝いする機会もだんだんと増えてまいりました。記念すべき節目の年に少しでもお役に立てるように委員全員で一生懸命取り組んでいく所存ですので今後とも宜しくお願ひ致します。

編集後記

「天台佛青連」の発行にあたり、多方面より原稿をお寄せ戴き心より感謝申し上げます誠にありがとうございました。

本年は皆様ご承知の通り「連盟創立五十周年」という大きな節目の年を迎え、十一月には比叡山にて「中央結集」の開催が予定されております。

そこで今号の特集頁は「結集十年間の歩み」五十周年記念事業に向けてとし、四十年より十年間の結集を懐かしく振り返っていただきたく、四十年の実行委員長をお務めになられた九州西教区の一、番ヶ瀬様に寄稿を戴きました。そして「連盟創立五十周年中央結集」祖師のともし火を守り自から覚る」の開催(十一月十一日・十二日)のご案内を合わせて掲載致しました。

現在、布教広報委員会では久保寺委員長のもと五十周年の「記念誌」の発行に向けた準備が進められており、半世紀に渡る過去の様々な行事、活動に込められた諸先輩方の思いが今に繋がっている事を肌で感じつつ取り組んでおります。大きな節目となる記念すべきより良い記念誌の作成に引き続き皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

布教広報副委員長 吉田 靖順